安全・安心の中学校給食へ転換を

日本共産党神戸市会議員団は、市内の各中学校を訪問し、異物混入問題をはじめ中学校給食について懇談。保護者の方々からも意見をお聞きしてきました。議会では、安上がりの「デリバリー方式」はやめ、安定して実施できる方式を真剣に検討するよう求めています。

一方教育長は、あくまで「デリバリー方式」にこだわる姿勢に終始。引き続き、温かい給食への転換を求めて引き続きがんばります。

須磨多聞線は中止すべき

神戸市は須磨多聞線の建設をすすめようとしていますが、現時点では地元の理解が進んでいるとは言えません。この間、ワークショップや相談会などが開かれましたが、疑問の残る結果でした。かつて、道路公害調停が不調に終わったのは、神戸市が調停を一方的に打ち切ったためです。神戸市の姿勢は極めて問題です。

山本じゅんじ議員は、神戸市が道路建設に固執しつづけることで、話し合いの機会を自ら狭めていると指摘。あくまでも道路建設に固執しつづける姿勢はあらためるよう求めるとともに、住民合意のない道路計画はやめるべきだと繰り返し求めました。

借り上げ住宅問題で申し入れ

子どもの医療費無料化を求める署名活動

空港抗議集会にて

議員団主催の予算懇談会にて

重税反対集会に参加

市民目線でムダを削ってくらし応援と地域活性化に ― 予算組み替え案の概要

主な中止・削減事業

神戸空港への支援	9.2億円
医療産業都市構想	40.5億円
誘致企業・新産業への減税補助	19.3億円
三宮再整備などの大型開発の中止	102.1億円
マイナンバー関連や議員費用弁償の廃止	16.4億円

削減 23事業 187億円

拡充 42事業 188億円

主な充実提案

子どもの医療費の中学卒業まで無料化	15.4億円
保育所保育料減免や在宅子育て支援など	8.8億円
35人学級やいじめ対策など教育の充実	11.8億円
敬老祝い金と高齢者配食サービスの維持	1.4億円
国民健康保険料1万円と介護保険料5千円引下げ	37.4億円
敬老パス・福祉パスの復活と神鉄など私鉄適用	11.5億円
私有地土砂災害対策助成と消防隊員の増員	2.7億円
住宅・店舗リフォーム助成	8.0億円
小事業者や商店・農林漁業者への直接支援	19.0億円
中学校・保育所・児童館・特養ホームなど生活密着の公共事業	67.1億円

一般会計のわずか2.5%の見直して実現 財政改善

不要不急事業削減による借金の減額 26億円

ごあいさつ

新しい季節。新しい職場や学校で、また日々の暮らしに新たな気持ちでスタートされておられる方も多いのではないでしょうか。昨年の市議選でふたたび市議会にお送りいただいて、早1年が過ぎました。特にこの1年は、安保法制をめぐって国民が思い思いに立ち上がり運動を繰り広げるなど、社会の大きな変化を実感する1年でもありました。

神戸市政では、公立幼稚園や中学校給食、公共交通や道路問題など運動が広がっています。今年も、議員団は「予算組み替え」を提案。市民生活や中小業者をもっと応援すべきと議会で奮闘しました。今後ともよろしくお願いします。